

<大会参加にあたっての確認事項>

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、以下の対策を行うこととします。
制限等多く、ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。
大会に関わる方々の安全・安心を確保するため、
必ずチーム全員に伝達し、徹底していただきますよう、よろしくお願いいたします。

1. 消毒液の設置場所・消毒方法について

- ①各会場 *玄関ロビー(2個)・・・受付時に検温及び消毒の徹底
*各コート(2個)
- ②各チーム 2個以上 消毒液を準備していただき、各チーム係を設定して確実に消毒を行う。
- ③体育館入口ドアノブ、男女トイレドアノブ、本部ドアノブ、倉庫ドアノブ、その他ドアノブ
- ④オフィシャル席・机、チームベンチ、観客席(ハーフタイム、試合終了ごとに消毒)
*オフィシャルをしたチーム、ベンチを使ったチーム、応援したチームは、使用したところを消毒する。

2. クラスター(集団)感染リスクを避ける対策

- ①各チーム大会参加選手を20名以下とする。(その中に消毒係を2名置き、責任者は部顧問と主将)
※今回は社会人・大学のみでの大会となりますので、大会が開催される地域でのMリーグへの参加に該当する高校チームについて、20名以上の構成となる場合にはご相談ください。
- ②大会に参加する全ての関係者は、各チームにおいて朝検温し、専門部で準備した用紙に記入、体育館入館時に本部に提出する。37.5度以上熱がある者、咳や倦怠感がある者など、感染が疑わしい症状がある際は、大会に参加させない。
- ③会場への移動は公共交通機関やチャーターバス、マイクロバス、チームバス等を使用する際は、マスクの着用の徹底、集団で固まって行動しないなど、ソーシャルディスタンスに心がける。
- ④高校において保護者の送迎になる場合は、部顧問は生徒の乗車状況を把握するようにする。
- ⑤チーム待機場所の指定(間隔を置いて待機場所を設定する)。
- ⑥開会式は行わず、試合開始1時間前から入場、試合に関わらない選手は体育館の外に出て、待機場所で待つようにする。
- ⑦常に窓を開放して喚起を行い、うがい手洗い・消毒も行う。
- ⑧試合終了時の握手を行わない。(全ての握手、ハイタッチを禁止する)
- ⑨水分補給については、各個人で準備し、使用する。スクイズボトル等の共用での使用を禁止する。
- ⑩閉会式は間隔を置いて整列させ、実施する。

3. 応援等についての制限

- ①各チーム大会参加選手（生徒）を20名以下とする。
（例：選手14名、ベンチ役員1名、大会役員3名、消毒係2名）
- ②応援者（保護者等）の体育館入場は各チームの試合が実施されている時間帯とし、各会場において指定された場所、人数を守っていただき、密集しないように隣、前後との距離を置いて応援していただく。
- ③各チーム責任者は、応援入場保護者名簿を提出し、入場できるのは記載された応援者（保護者）のみとする。応援は拍手および鳴り物のみ、大声を出しての応援は控えていただく。
- ④応援者（保護者）はマスク着用を徹底していただく。

4. 運営する上での対策

- ①大会役員は、できる限り社会人運営委員、高体連で行う。
- ②医療従事者を設置し、感染対策をチェックしていただくと共に、ご指導いただく。また、感染者発生の場合の対応やさまざまな対応をお願いする。
- ③専門部として共有する事項として、大会期間中発生の場合は、感染経路が大会期間中でないと思われるが、直ちに大会を中止し、感染対策の説明を行うこととする。
- ④大会期間中もしくは大会終了後、感染が発覚した場合は、大会での感染対策や実施状況などを明確に説明し、全チームの部顧問・選手役員にPCR検査を行っていただく。
（最低でも、感染が発覚したチームと対戦したチーム関係者全員）

5. 大会参加への判断

- ①大会開催前2週間以内に、県外チームとの練習試合をした場合や県外に出かけた場合や、県外の方との接触があったりした場合（該当する県の感染状況が注意圏域（黄色）以上に該当する場合）は出場を認めない。
- ②競技の特性上、密閉は妨げるとしても、密集、密接は避けることが不可能であることから、出場するチームについては、入場者名簿、チェックリスト、検温表を提出していただく。
高校、大学の出場・不出場の判断は各学校の判断にゆだねるものとする。

6. 提出物、準備物

各チーム	本 部
※当日参加者名簿、チェックリスト、検温表	・手指消毒液 ・ハンドソープ
・手指消毒液 ・ハンドソープ	・次亜塩素酸ナトリウム消毒液（2個以上）
・次亜塩素酸ナトリウム消毒液（2個以上）	・消毒用雑巾 ・体温計 ・マスク
・消毒用雑巾 ・体温計 ・マスク 他	・ペーパータオル ・啓発チラシ 他